

2018年4月……in 松戸市 性暴力被害対応チーム(SART) 研修会のお知らせ

主催：性暴力被害対応チーム研修研究会／共催：千葉県虐待対策研究会(千葉県児童虐待医療ネットワーク事業)、松戸市立総合医療センター

後援：日本フォレンジック看護学会

性暴力は、性に関係する本人の同意しないあらゆる形の暴力を指し、対象は子ども、大人、老人すべての男女を含みます。性的な広告や記事を見せられること、言葉の嫌がらせ、知人や親しい者からの暴力、性犯罪としての強制性交等(強姦)や強制わいせつ。これらの被害はわたしたちの生活や健康に深く関わり、地域で多職種が協働して性暴力に取り組むことで、効果的に被害の予防や被害者への対応の充実が図られることが明らかになっています。

性暴力被害対応チーム研修研究会は、文部科学省の研究助成金(基盤研究(B):日本版性暴力支援チーム研修開発と看護師の調整能力促進)を得て、各地域で多職種を対象にした性暴力被害対応チーム(Sexual Assault Response Team:SART)研修を開催しています。

2015年2月にアメリカで長年の実績のあるSARTの研修チームをお招きしてSART研修会を行い、これらの実績を基に日本版SART研修を開発しました。

今回の基礎編は、主に性暴力被害の理解と対応の基本、実践例から身近な問題として考えられることを目指します。

●●● 松戸市立総合医療センター 会議室 ●●●

千葉県松戸市千駄堀 993-1

電話：047-712-2511(代表) ※裏面地図参照



SART 基礎編 4月21日(土) 9:30~17:00

内容：性暴力被害の実態と被害の影響、性暴力被害者への支援、ワンストップセンターでの支援、多職種連携の基礎 など

講師：加納 尚美(茨城県立医療大学 教授・性暴力被害者支援看護師)

李 節子(長崎県立大学 教授・性暴力被害者支援看護師)

家吉 望み(東京有明医療大学 講師・性暴力被害者支援看護師)

平川 和子(NPO法人性暴力救援センター・東京 理事長)

前沢 政次(ひまわりクリニックきょうごく 院長)

● 参加費／無料
自由参加のアンケートあり

● 参加資格
性暴力被害者支援対応を行っている方、または関心のある方
(ボランティア、教育関係者、医療関係者、福祉関係者、司法関係者、警察関係者)



お申込みは、<http://jafn.jp> (日本フォレンジック看護学会) から、受付は4月9日(月)まで、先着20名。

研究会メンバー：米山奈奈子(秋田大学)／李節子(長崎県立大学)／山田典子(日本赤十字秋田看護大学)／三隅順子(東京医科歯科大学)／家吉望み(東京有明医療大学)／藤田景子(静岡県立大学)／長江美代子(日本福祉大学)／山波真理(茨城県立医療大学)／土居岸悠奈(茨城県立医療大学)

協力：小橋孝介(松戸市立総合医療センター小児科医師、チャイルドファーストPROJECT 代表)／落合香代子(看護師、子育て支援団体 ママリングス代表、SANE)

研究代表者・問合わせ 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科 加納 尚美
電話：029-840-2181(直通) e-mail：kanou@ipu.ac.jp